

4043 株式会社トクヤマ

2026年3月期 通期決算

TOKUYAMA

半導体好調で増収増益、営業利益は過去最高

売上高

349,476

百万円

+1.9%

営業利益

37,017

百万円

+23.5%

経常利益

38,203

百万円

+29.1%

当期純利益

22,205

百万円

▲5.1%

今回のポイント

① 増収増益、営業利益は23.5%増の370億円

半導体関連製品が堅調に推移し新規連結子会社も寄与した。売上総利益は+15.5%増加し粗利率も改善。販管費増を吸収し2桁増益を確保した。

② 5年間の中期経営計画2030を策定・公表

電子先端材料・ライフサイエンスを軸に事業変革を加速する。2031年3月期に売上高4,075億円、営業利益570億円を目指す。営業利益率は14.0%を計画。

③ 27年3月期の業績・配当予想は未定

中東情勢緊迫化で原燃料調達・コストの不透明感が高く、合理的な予想算定が困難と判断した。算定可能となり次第速やかに公表する方針。

事業概要

ソーダ灰・苛性ソーダ等の基礎化学製品と、多結晶シリコン等の半導体関連製品を展開する総合化学メーカー。1918年創業。歯科器材やプラスチックレンズ関連材料、医薬品原薬など化学から生まれるファインケミカル製品も手掛ける。

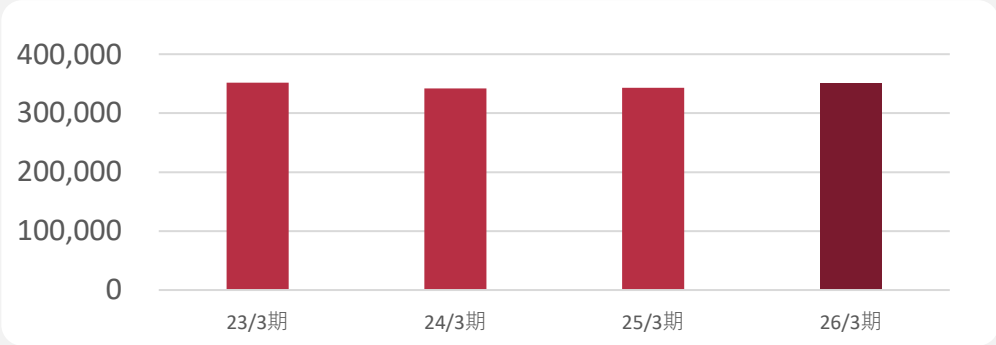
通期業績 前期比較

単位：百万円

	25/3期	26/3期	増減率
売上高	343,073	349,476	+1.9%
営業利益	29,968	37,017	+23.5%
経常利益	29,588	38,203	+29.1%
当期純利益	23,388	22,205	▲5.1%

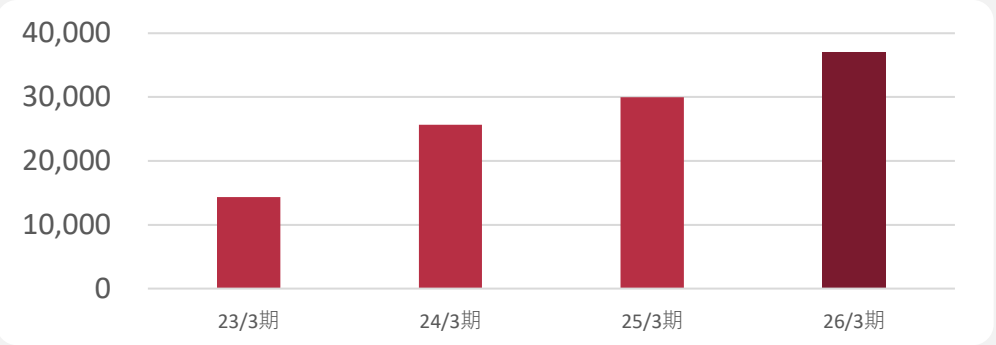
売上高 推移（直近4期）

単位：百万円



営業利益 推移（直近4期）

単位：百万円



今期業績予想

単位：百万円

	26/3期	27/3期(予)	前期比
売上高	349,476	未定	—
営業利益	37,017	未定	—
経常利益	38,203	未定	—
当期純利益	22,205	未定	—

[詳細はこちら](#)

井上社長に聞く

Q：社長としてのミッション

「中期経営計画2030」では「事業ポートフォリオの変革」を掲げ、成長領域への不可逆的なシフトを断行し、後戻りしない変革を実現することを自身の使命と位置付けています。

Q：社員へのメッセージ

自ら課題を探究し、将来を見据えて結果にこだわることを求めています。現状に疑問を持ち、変革につながる提案を積極的に行う文化を醸成するとともに、財務規律を前提に挑戦を後押しし、社員の意識改革をさらに進めます。

Q：「中期経営計画2030」の重点施策

電子先端材料では顧客に近い拠点を活用し、需要への迅速な対応と技術ニーズの把握を強化します。ライフサイエンスでは慢性疾患向け診断薬やコンパニオン診断薬の開発を推進し、M&Aで設立した新会社も活用して成長を目指します。

Q：今後の課題

持続的成長には海外を含めたM&Aが重要であり、その実現に向けてPMIのノウハウ蓄積や人材育成を進めます。また、新規事業や研究開発の成功体験を積み重ねるためにも、M&Aを重要な成長戦略と位置付けています。

Q：株主・投資家へのメッセージ

事業ポートフォリオ変革で芽生えた成長を、オーガニック成長とM&Aの両輪でさらに拡大します。成長投資と株主還元のバランスを図りながら、ROEやROICなど資本効率を重視し、「グッドカンパニー」にとどまらない「グッドストック」を目指します。

[詳細はこちら](#)